



各位

2021年8月12日

上場会社名 古河機械金属株式会社  
 代表者 代表取締役社長 中戸川 稔  
 (コード番号 5715)  
 問合せ先責任者 経理部長 三影 晃  
 (TEL 03-6636-9502)

## 2022年3月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期の第2四半期累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）の連結業績予想値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期第2四半期累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2021年5月13日 発表)	93,000	2,500	2,800	1,400	35.83
今回修正予想(B)	95,300	2,900	3,300	1,600	40.95
増減額(B-A)	2,300	400	500	200	
増減率(%)	2.5%	16.0%	17.9%	14.3%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期第2四半期)	75,199	1,481	2,168	4,869	124.17

## 2. 連結業績予想の修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、前回（2021年5月13日）発表の業績予想との比較において、当第1四半期連結累計期間に引き続き、ロックドリル部門では、景気の回復ペースが加速している北米における需要が底堅く、電子部門では、結晶製品やコイルおよび窒化アルミ需要の増加、高純度金属ヒ素の安定した需要を見込み、また、化成部品部門においても、亜酸化銅や基板用向けの旺盛な需要が見込まれる酸化銅などにより、増収増益となる見込みです。なお、金属部門につきましては、当第1四半期連結累計期間における増収増益が、金属価格の上昇による影響を主因としていること、また、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や収束時期など内外の不透明な情勢から金属価格の動向を見通せない状況であるため、前回発表を据え置いております。以上の結果、連結全体の売上高および営業利益を上方修正し、これに伴い、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、上方修正しています。

なお、通期の連結業績予想につきましては、現時点で見直しを行わず、前回（2021年5月13日）発表の業績予想のとおりとしています。

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上